

経営比較分析表（令和2年度決算）

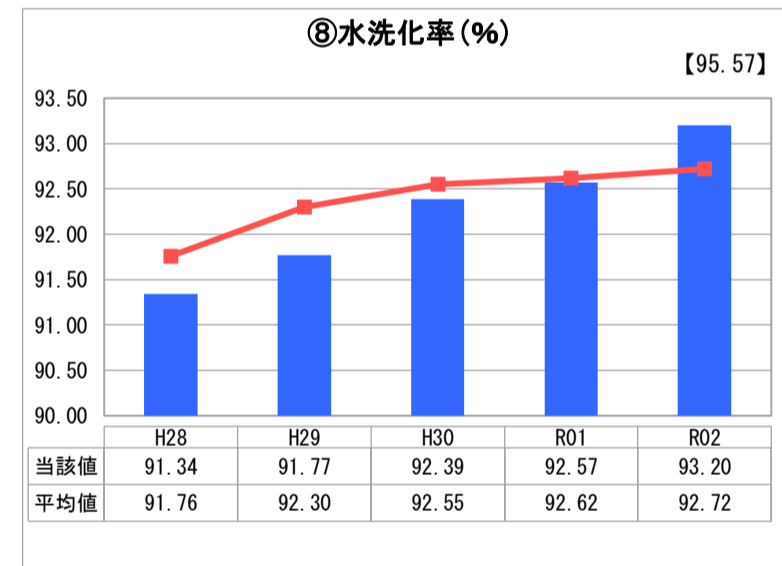
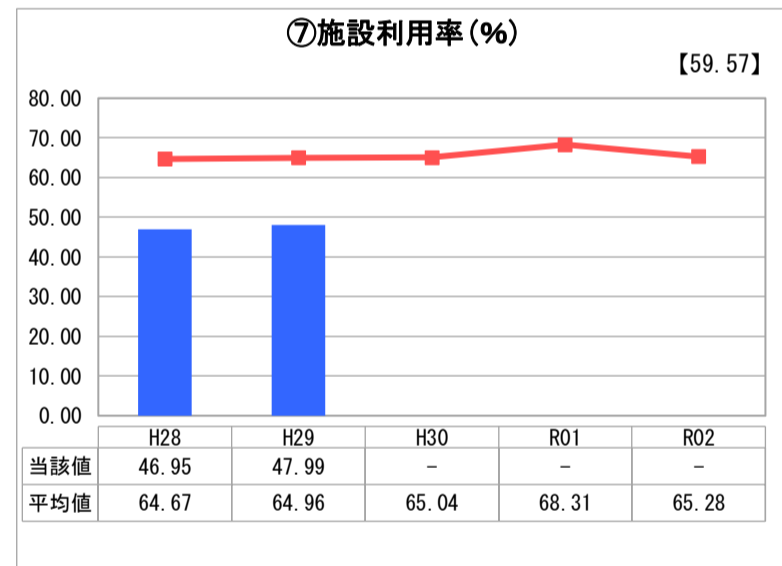
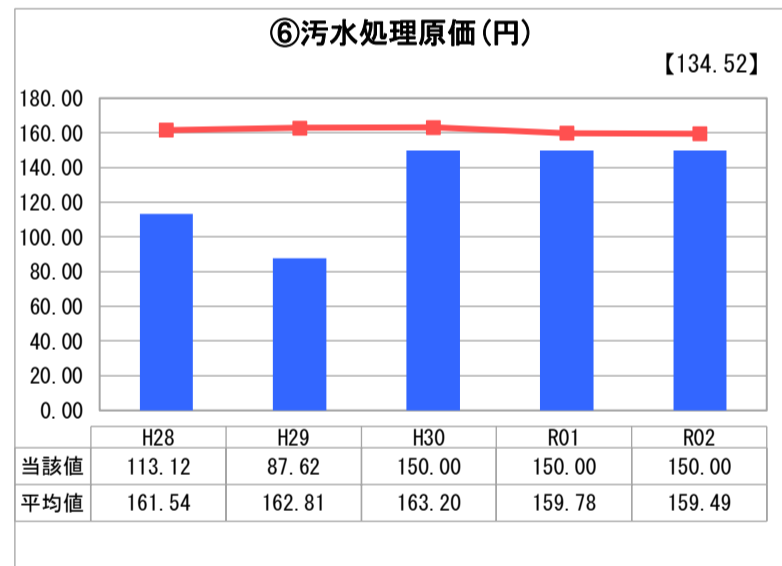
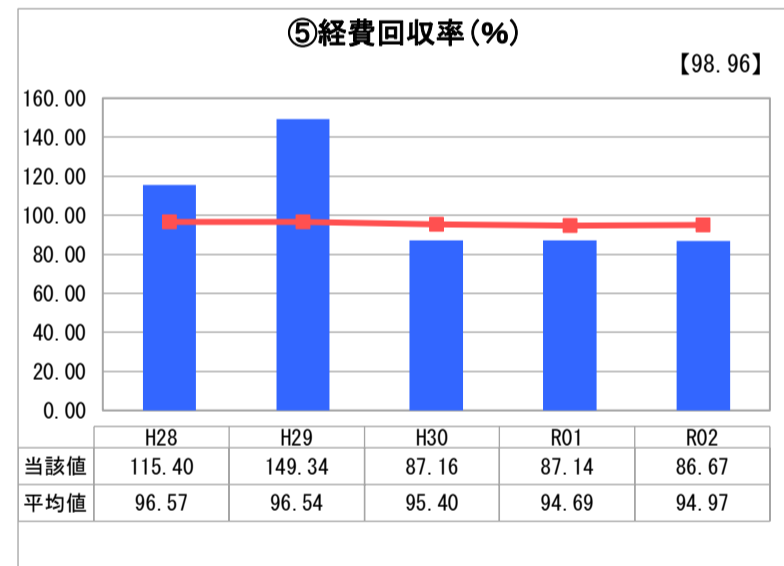
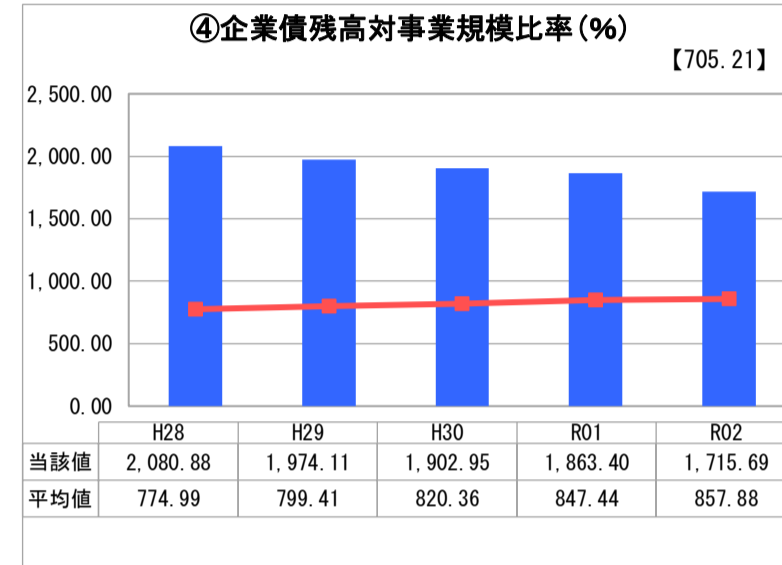
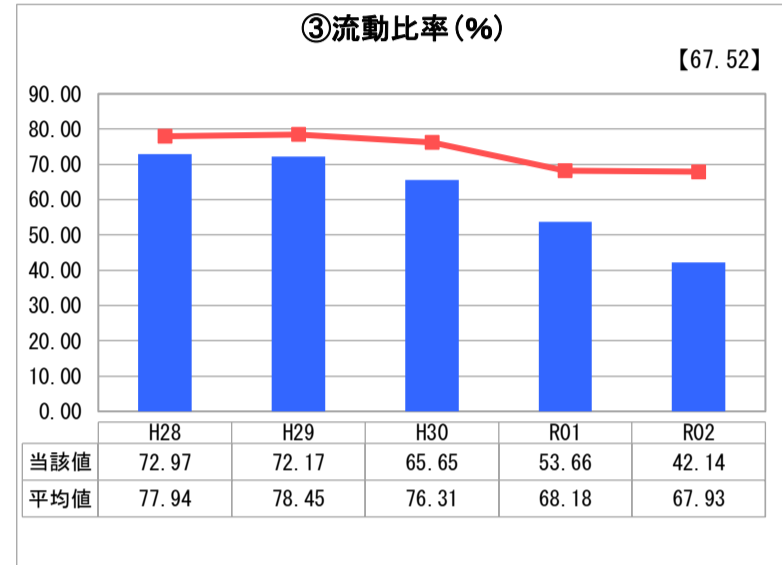
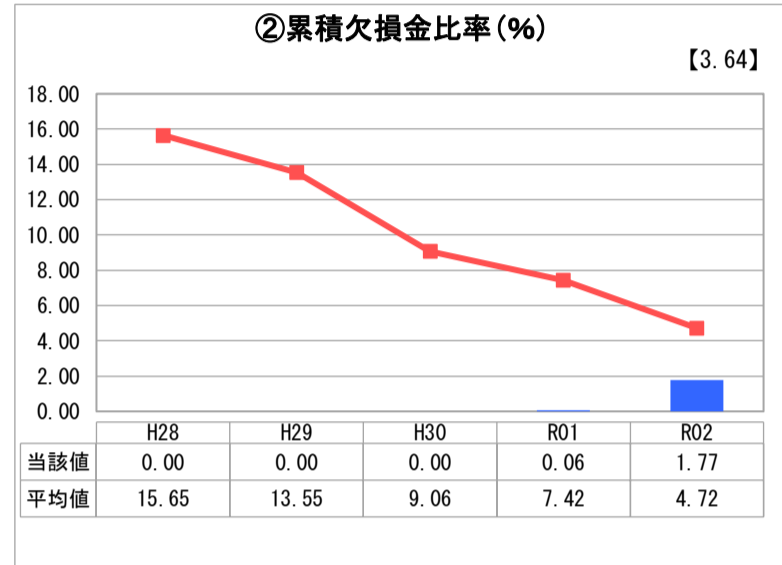
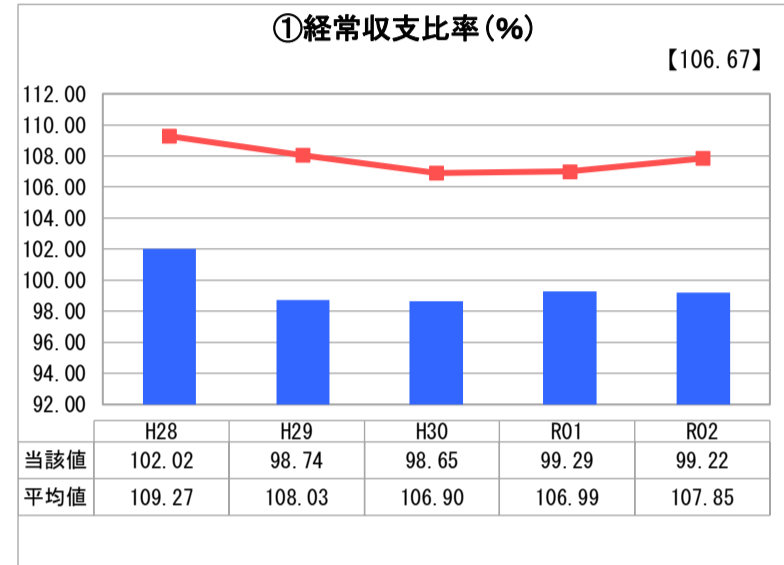
福井県 坂井市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	50.68	95.17	85.96	2,530

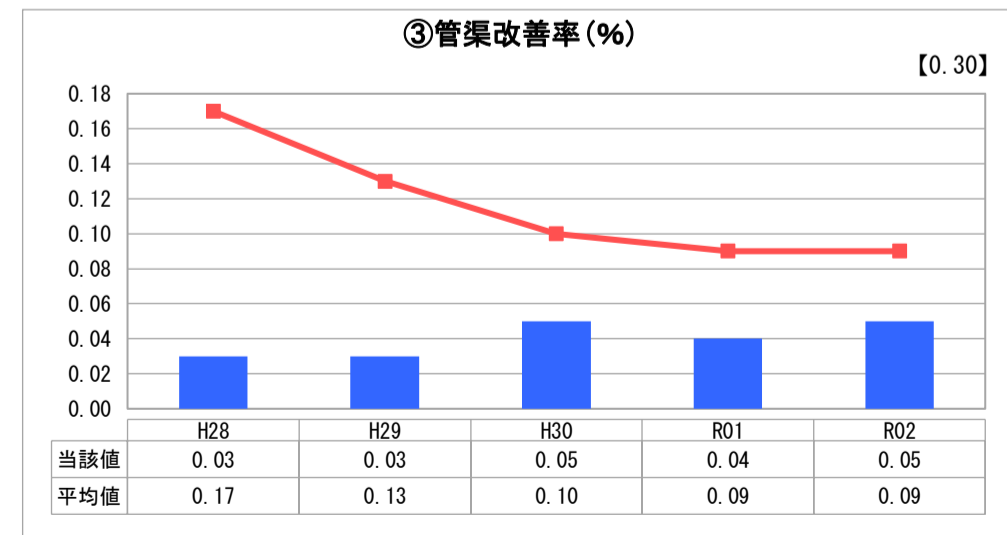
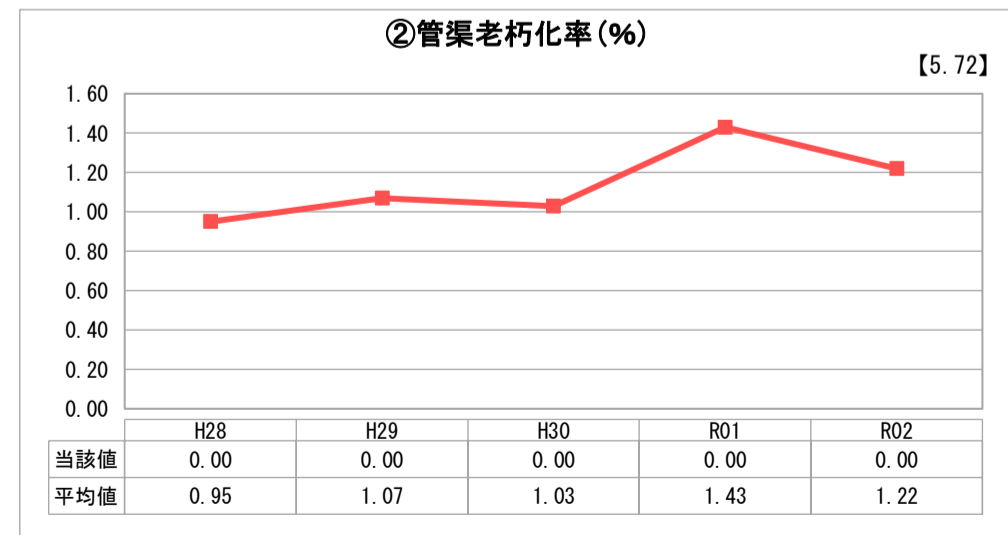
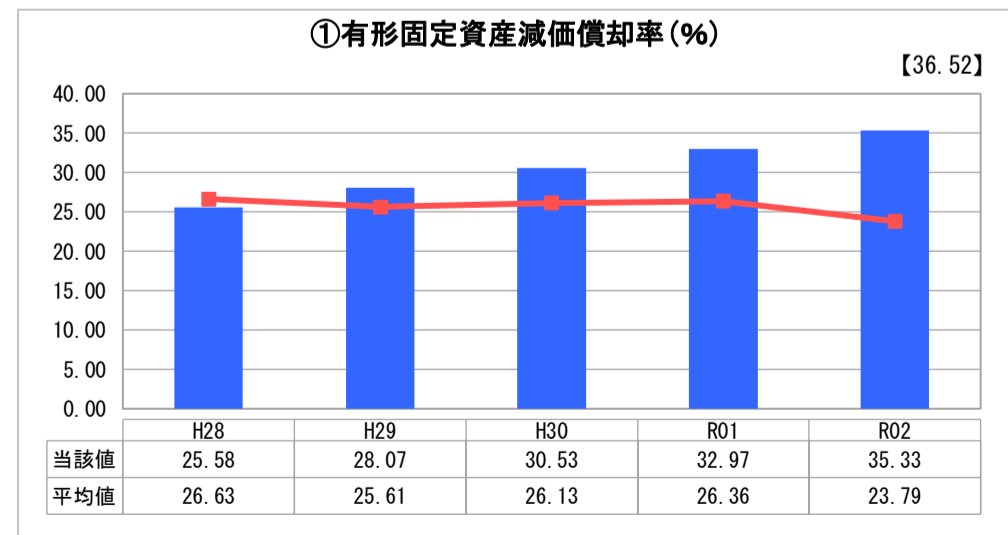
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
90,815	209.67	433.13
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
86,123	28.18	3,056.17

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 使用料収入は前年度より増加したものの、一般会計からの繰入金が増加し、結果的に経常収益が大幅に減少した。
- ② 平成29年度より続いている赤字で、繰越利益剰余金でも補填できなくなってきている。早急に使用料改定等の収入増加対策を検討、実施しなければならないと考えている。
- ③ 企業債償還額は依然として大きい、徐々に減少傾向にはある。また、赤字が続く中で現金残高の減少が顕著なことから、比率が下がっている。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は微減しているが、今後の事業計画により借入が増えると思われるので注視していく。
- ⑤ 経年劣化による施設の故障等で維持管理費用が増大していることが経費回収率を下げていると思われる、使用料収入の増加が急務である。
- ⑥ 類似団体より若干低い、不明水が増えると処理費用も増えるので対策を講じたい。
- ⑦ 当市は終末処理場が無いので数値は発生しない。
- ⑧ 下水道整備はほぼ終了している。大幅な上昇は見込めないが、今後も水洗化促進に努めていきたい。

2. 老朽化の状況について

- ① 耐用年数に近づいている固定資産が増えてきており、減価償却率が上昇している。
- ② 法定耐用年数を経過した管はない。
- ③ 令和元年度、2年度にストックマネジメント計画を策定した。今後、これにより計画的な施設の更新、改築を行っていく。

全体総括

令和2年度に経営戦略を策定した。現状、下水道整備がほぼ終了しており、受益者負担金収入の頭打ち、人口減少に伴う使用料収入の伸びの鈍化で、収入が施設に係る支出に対応できなくなってきている。公共水域の保全に努め、市民に安心安全なサービスを提供する為にも早急に料金の見直しを検討、実施していきたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。